

年 組 名前：

富士河口湖・公民館に空手マット
避難時 敷物に活用



富士河口湖町は船津地区公民館に、避難者用の防災マットとして空手マットを導入した。日常で使えるものを非常時にも役立てる「フェーズフリー」の考え方に基ついた対応。空手マットは町内施設への貸し出しも予定している。東京五輪で採用された空手競技の振興にもつなげたい。

町地域防災課によると、船津地区の住民は災害時、町中央公民館に避難するが、現在は新型コロナウイルススワクチン接種の会場となつている。避難所として使用できないため、住民は船津地区公民館に避難するが、床がフローリングで座ると硬く冷たい。

船津地区公民館では災害時、避難者に新型コロナウイルス感染症対策やプライバシー確保を目的にテントを配布。テントの中敷きとしてマットを使用することを想定している。マットは船津地区公民館で保管するが、町内で空手の試合や合宿などが行われる際は貸し出すという。

町担当者は「無駄がないようにするにはどうすれば良いか考えた。空手競技の振興にも役立てたい」と話している。

町は床に敷く防災用マットの購入を検討したが、日常で使えるものを非常時にも役立てる「フェーズフリー」の考え方に基つき、東京五輪で注目された空手競技で使用されるマットを購入することにした。マットは1畳の正方形で、厚さは1.5センチ。素材はポリオレフィン系発泡体。赤と青のリバーシブルで、空手の試合ができるコート(12畳四方)を作ることができる144枚を導入した。事業費は100万円。

テントの中に敷くことを想定した空手のマット
—富士河口湖町船津

(2021年9月17日付 山梨日日新聞 22面)

問1

「フェーズフリー」とは、どのような考え方が説明してください。

.....

問2

富士河口湖町は、フェーズフリーに基つき、①を購入して、②に使用し、③をなくしたいのですか。

① ② ③

問3

フェーズフリーの考え方は、他にどんなことに活用できると思いますか。あなたのアイデアを具体的に書いてください。

.....
.....
.....